

5 事業創出活動

□ 公共経営分野

アグリビジネス振興プログラム

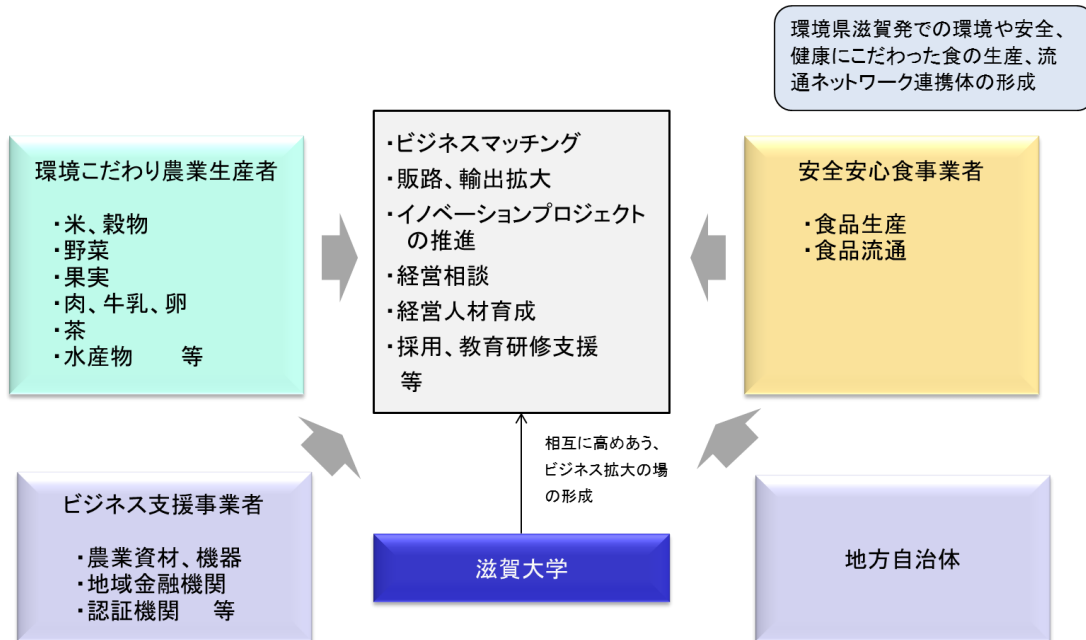
1. 趣旨

今後の成長産業の一つとして、アグリビジネスが注目されている。アグリビジネスとは、農林漁業を中心に加工、流通を含めた産業群をいう。農林漁業の生産額は約 8 兆円であるが、加工、流通を含めると約 100 兆円の市場となる。景気低迷が続く中で、企業は新たな事業を展開する市場を求めている一方で、農業市場はこれまでビジネス的な視点での運営が遅れ、耕作放棄地の再生や地域農業の活性化といった課題を抱えている。そこにビジネスの発想を持ち込み、新しい技術やノウハウを使うとともに、生産、加工、流通の連携を強めていこうというものである。

農林水産省も「六次産業化支援法」を策定し、将来の成長産業となるべく農林漁村の 6 次産業化を強力に支援している。滋賀県は都市近郊地域としてアグリビジネスへのポテンシャルは高い。アグリビジネスは、製造業、サービスを補完する産業としておおいに期待される。

したがって、本プロジェクトは、1、2、3 次事業者のネットワークを構築し、さまざまな連携を通じて、滋賀県及び周辺地域におけるアグリビジネス（農林水産物の生産、加工、流通や農山村地域におけるツーリズム、再生可能エネルギーの開発などを含むビジネス）の推進を支援することを目的としている。なお、滋賀県の農業生産者の特徴として、生態系の保全、食の安全性を大切にしていることがあげられる。本ネットワークは、アグリビジネスに関する環境経営という点での共通点を持つものとする。

【環境こだわりアグリビジネスネットワーク(仮称)】



2. 平成 25 年度の実績状況

1) 訪問調査の実施

農業法人や農業及び食関連企業等経営者 14 社への訪問ヒアリング調査を実施し、現状の課題と連携ニーズを把握した。昨年度の 17 社を加えると、31 社への訪問ヒアリングを実施したこととなる。

【訪問調査実施企業】

NO	種別	企業、団体名	品目	所在地
1	生産法人・団体	(有)池田牧場	酪農	東近江市
2	生産法人・団体	タカファーム	野菜	日野町
3	生産法人・団体	(株)ワダケン	野菜	栗東市
4	生産法人・団体	(株)イカリファーム	米	近江八幡市
5	生産法人・団体	(有)もりかわ農場	米	長浜市
6	生産法人・団体	(有)甲賀もち工房	もち	甲賀市
7	生産法人・団体	(株)サニーリーフ	野菜	彦根市
8	生産法人・団体	かたぎ古香園	茶	甲賀市
9	生産法人・団体	(株)タキイ種苗研究農場	野菜種	湖南市
10	生産法人・団体	一般社団法人就農ベンチャー協会(びわこ板倉ファーム)	米、野菜	守山市
11	生産法人・団体	こと京都(株)	野菜	京都市
12	食品加工	あやべとうふ店	豆腐	長浜市
13	農業支援機関	専修学校 滋賀県農業大学校		近江八幡市
14	農業支援機関	滋賀県農業会議		大津市

また、地域をベースにアグリビジネスネットワークを形成している先進事例として、やまがた6次産業ビジネススクールを調査した。

2) 滋賀大マルシェ(農産物直売市)の実施

「環境こだわり農業」や「環境こだわり農産物」について、特に若い世代に向けての認知を高めることを目的に、滋賀大マルシェを下記のとおり実施した。12月13日(金)は計画したものの荒天のため中止した。

■開催日時：平成25年5月10日(金)、6月7日(金)、7月5日(金)、10月4日(金)、11月8日(金)
12:00~14:30

■場所：滋賀大学彦根キャンパス生協前広場(雨天の場合は屋根下で実施)

■対象：滋賀大学学生、教職員、周辺住民

■滋賀大マルシェの理念

- 一. 学生や消費者に、環境や健康にこだわった農業や農産物を理解してもらう場です
- 一. 商品の価値を伝える場です
- 一. 知ること、見ること、買うことが楽しい場です
- 一. さまざまな商品や売り方の試行実験の場です
- 一. 学生も運営に関わり、生産者や農業ビジネスを学ぶ場です

■出店者数：各回10団体以内、農業団体、直売所、農業法人、企業、農家グループなど
(滋賀県外からの参加も可)

■出店物：環境こだわり農産物(認証取得済)、もしくは減農薬、有機農産物、同加工品、環境に配慮した商品。商品数は問いません。

■出店料：無料(売上は出店者にすべて帰属)

■出店方法：大学よりテント、テーブルを用意、出店者は自由にディスプレイ

■関連イベント：利き野菜、アカペラコンサート、農家と語る会を随時実施

■主催：NPO法人彦根景観フォーラム・滋賀大学社会連携研究センター

【出店者】

実施日	法人名	商品
5/10(金)	①おうみんち(守山市)	農産物、加工品
	②株みのり農園(東近江市)	JAS 米、野菜
	③株ひこね新開館(彦根市)	野菜
	④米屋の創作おにぎり利次郎(京都市)	創作おにぎり
	⑤(有)池田牧場(東近江市)	ジェラート、牛乳
	⑥タカファーム(日野町)	トマト
	⑦ラーメン三幸(彦根市)	ラーメン
	⑧あやべとうふ店(長浜市)	豆腐、油揚、惣菜
	⑨みずほ製菓(多賀町)	あられ
6/7(金)	①株みのり農園(東近江市)	JAS 米、野菜
	②株ひこね新開館(彦根市)	野菜
	③米屋の創作おにぎり利次郎(京都市)	創作おにぎり
	④(有)池田牧場(東近江市)	ジェラート、牛乳
	⑤タカファーム(日野町)	トマト
	⑥大戸洞舎(長浜市)	米、雑穀、加工品
	⑦ラーメン三幸(彦根市)	ラーメン
	⑧あやべとうふ店(長浜市)	豆腐、油揚、惣菜
	⑨みずほ製菓(多賀町)	あられ
	⑩堀田書店(彦根市)	料理本
7/5(金)	①おうみんち(守山市)	農産物、加工品
	②株みのり農園(東近江市)	JAS 米、野菜
	③やまじょう(湖南市)	お漬物
	④米屋の創作おにぎり利次郎(京都市)	創作おにぎり
	⑤タカファーム(日野町)	トマト
	⑥大戸洞舎(長浜市)	米、雑穀、加工品
	⑦ラーメン三幸(彦根市)	ラーメン
	⑧あやべとうふ店(長浜市)	豆腐、油揚、惣菜
	⑨みずほ製菓(多賀町)	あられ
	⑩株ワダケン	野菜
10/4(金)	①株みのり農園(東近江市)	JAS 米、野菜
	②米屋の創作おにぎり利次郎(京都市)	創作おにぎり
	③タカファーム(日野町)	トマト
	④みずほ製菓(多賀町)	あられ
	⑤かたぎ古香園(甲賀市)	無農薬朝宮茶
	⑥Yeti Fazenda イエティ ファゼンダ(彦根市)	コーヒー、ドーナツ
	⑦あやべとうふ店(長浜市)	豆腐、油揚げ、加工品
	⑧学生の八百屋さん「彩菜館」	野菜、果物、加工品
11/9(金)	①株みのり農園(東近江市)	JAS 米、野菜
	②米屋の創作おにぎり利次郎(京都市)	創作おにぎり
	③タカファーム(日野町)	トマト
	④かたぎ古香園(甲賀市)	無農薬朝宮茶
	⑤Yeti Fazenda イエティ ファゼンダ(彦根市)	コーヒー、ドーナツ
	⑥ファーマーズマーケットおうみんち(守山市)	野菜、果物、加工品
	⑦あやべとうふ店(長浜市)	豆腐、油揚げ、加工品
	⑧文久蔵(彦根市)	そばスイーツ、チャイ
	⑨学生の八百屋さん「彩菜館」(彦根市)	野菜、果物、加工品

3) 滋賀大うちごはん農園の実施

「滋賀大うちごはん農園」活動は、自炊生活を楽しみたい滋賀大学生等に対し、共同で環境こだわり農業を実践し、自炊のレシピを学び、生きる力を高めてもらうことを目的としている。本活動は、耕作放棄地を都市型農園として活用するためのビジネスモデルの試行としても位置付けている。農園は、彦根市農林水産課の協力を頂き、彦根市松原に位置している。学生が農と食を実践的に学ぶ本活動は全国でも例がない取組みである。

- 場所 菜園スクール:彦根市松原の特設農園
料理スクール:四番町スクエア街なかプラザ2階キッチンスタジオ
- 参加者 学生、教職員 16名
- 内容
- 【菜園スクール】4グループに分かれ、作付け計画、土づくり～収穫までを環境こだわり農業で菜園インストラクターの指導のもとに実践。(月1回共同作業)
- 【料理スクール】自分達でつくった旬の採りたて野菜を、野菜ソムリエの指導のもとに調理&試食。野菜プチ講座も開催。(月1回)
- インストラクター
- 西村 健之(レイクサイドビジュ代表、菜園インストラクター)
立花 尚子(バナナハート代表、野菜ソムリエ、フードサロンクリエイター)
石井 良一(滋賀大学社会連携研究センター教授、農業経営アドバイザー)
- 主催 滋賀大うちごはん農園実行委員会(NPO法人彦根景観フォーラム、滋賀大学社会連携研究センター、レイクサイドビジュ、バナナハート)
- 協力 彦根市農林水産課、滋賀県食のブランド推進課

【スケジュール】

日程	内容	
	菜園スクール 9:00-12:00	
5月18日(土)	・野菜づくりの基本、グループ栽培計画づくり、菜園視察	
5月25日(土)	・菜園整備、夏野菜定植	
6月29日(土)	・菜園整備、夏野菜定植	
	菜園スクール 8:30-10:30	料理スクール 11:30-13:00
7月27日(土)	・菜園整備、夏野菜収穫	・夏野菜ごはん
8月31日(土)	・菜園整備、夏野菜収穫、秋野菜定植	・夏野菜ごはん
9月28日(土)	・菜園整備、秋野菜収穫、冬野菜定植	・秋野菜ごはん
10月26日(土)	・菜園整備、秋野菜収穫	・秋野菜ごはん(農園にて)
11月30日(土)	・菜園整備、冬野菜収穫	・冬野菜ごはん
	菜園スクール 9:00-13:00	
12月14日(土)	・菜園修復、今年度活動のまとめ、うちごはんランチ	

(文責 教授 石井 良一)